

「2019県展」の審査結果及び入選作品展について

県展は、兵庫県の芸術文化の振興に資することを目的に、県内に生活し、日頃から美術作品の制作活動に励んでいる方を対象とした公募展です。1962年（昭和37年）から毎年開催され、今回で56回を迎えました。

今年は、絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインの6部門で募集し、合計567点の応募がありました。厳正な審査の結果、入選作品205点、そのうち「県展大賞」などの入賞作品55点が別添資料のとおり決定しました。

については、入選作品展（計205点）を下記のとおり開催します。

記

1 主催

兵庫県、兵庫県立美術館、神戸新聞社、公益財団法人兵庫県芸術文化協会

2 会期等

(1) 会 期：8月3日（土）～8月24日（土）

(2) 休 館 日：月曜日（8月5日、8月13日、8月19日）

(3) 開館時間：午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）

最終日の8月24日（土）は午後2時で閉展（入場は午後1時30分まで）

3 会場

兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー 2階大展示室

（神戸市灘区原田通3丁目8番30号 T e l : 0 7 8 - 8 0 1 - 1 5 9 1）

4 観覧料

無料

5 添付資料

(1) 2019県展 審査結果について

(2) 2019県展 入選者・作品名リスト

(3) 2019県展 講評

(4) 2019県展 大賞等受賞作品 図版

2019県展 審査結果について

兵庫県立美術館

1 応募状況等一覧

(1) 応募及び入選作品数一覧

部門	応募点数				入選点数		左のうち入賞点数							辞退数
	本年度 応募点数	昨年比 増減数	昨年比%	本年出品 全体に 占める 割合(%)	本年度	%	特席	一席	二席	三席	四席	佳作	奨励賞	
絵画	212	19	104.7%	35.6	73	36.1	1	1	1	1	1	5	1	10
彫刻・立体	19	5	121.4%	3.0	6	35.3		1	1	1	1	1	1	2
工芸	39	8	116.1%	6.3	14	38.9		1	1	1	1	3	1	3
書	72	18	131.5%	12.5	26	36.6		1	1	1	1	5	1	1
写真	220	6	99.1%	37.4	76	35.8		1	1	1	1	5	1	8
デザイン	32	9	126.1%	5.1	10	34.5		1	1	1	1	5	1	3
計	594	65	107.2%	100	205	36.2%	1	6	6	6	6	24	6	27

特席 県展大賞 副賞50万円
 一席 部門大賞(知事賞) 副賞10万円
 二席 兵庫県立美術館賞 副賞7万円
 三席 神戸新聞社賞 副賞記念品
 四席 (財)兵庫県芸術文化協会賞 副賞記念品
 佳作
 奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞 副賞5万円及び記念品
 特別賞 県民賞(来場者の投票による) 副賞記念品
 ※特席(県展大賞)及び特別賞(県民賞)は全部門を通じて各1名、奨励賞((公財)伊藤文化財団賞)は各部門1名
 ※県展大賞の副賞50万円については、部門大賞の10万円を含む

(2) 年齢・男女別応募者数一覧

部門	10代		20代		30代		40代		50代		60代以上		不明		計	
	2019	2018年比	2019	2018年比	2019	2018年比	2019	2018年比	2019	2018年比	2019	2018年比	2019	2018年比	2019	2018年比
絵画	10(5)	10(5)	21(15)	9(7)	5(2)	0(1)	11(3)	2(-1)	22(10)	3(-3)	140(56)	9(-4)	3(2)	2(1)	212(93)	35(6)
彫刻・立体	1(1)	1(1)	1(0)	-3(-3)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(2)	-1(1)	13(4)	5(2)	0(0)	0(0)	19(7)	2(1)
工芸	0(0)	0(0)	0(0)	-5(-5)	2(1)	-1(0)	5(3)	-3(-1)	6(0)	1(-3)	26(11)	5(0)	0(0)	-1(-1)	39(15)	-4(-10)
書	6(6)	-1(2)	4(4)	-3(-2)	4(3)	-5(-4)	5(4)	0(-1)	16(15)	-1(-2)	36(34)	12(14)	1(1)	1(1)	72(67)	3(8)
写真	1(1)	0(0)	1(0)	0(-1)	4(1)	2(0)	3(0)	-3(0)	10(3)	1(2)	199(51)	9(-5)	2(2)	0(0)	220(58)	9(-4)
デザイン	1(1)	0(0)	7(5)	2(0)	6(2)	5(1)	4(3)	-1(2)	2(1)	-3(0)	12(2)	2(2)	0(0)	0(0)	32(14)	5(5)
計	19(14)	10(8)	34(24)	0(-4)	22(9)	1(-2)	28(13)	-5(-1)	59(31)	0(-5)	426(158)	42(9)	6(5)	2(1)	594(254)	50(6)
%	3.2(2.4)		5.7(4)		3.7(1.5)		4.7(2.2)		9.9(5.2)		71.7(26.6)		1(0.8)		100(42.8)	

※()内は女性の内数

(3) 受付日別出品人数

	1日目	2日目	合計
一般	396	133	529
学生	26	12	38
計	422	145	567

(4) 地域別応募者数一覧

部門	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	その他	計
絵画	83	34	16	25	19	15	6	3	7	4	0	212
彫刻・立体	13	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	19
工芸	13	5	1	7	3	2	2	2	2	1	1	39
書	21	6	3	9	5	19	8	0	0	1	0	72
写真	106	27	18	13	24	13	5	3	7	4	0	220
デザイン	14	4	4	2	2	3	2	1	0	0	0	32
計	250	77	43	57	54	53	23	9	17	10	1	594
%	42.1	13	7.2	9.6	9.1	8.9	3.9	1.5	2.9	1.7	0.2	100

絵画部門(応募点数 202 入選点数 73)

賞	題名	氏名	居住地	年齢
一席 部門大賞(知事賞)	時季のシグナル	松井 幸子	神戸市西区	73
二席 兵庫県立美術館賞	風化シリーズ(賽の河原)	中村 淳典	高砂市	59
三席 神戸新聞社賞	さあさあ、どうぞ!	原 清	神戸市西区	72
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	ミエナイ ケド アルモノー追いかけて	相良 みつよ	神戸市須磨区	69
佳作	Self-portrait Avenue	藤本 隆正	西脇市	36
佳作	桜の下	丸尾 邦典	姫路市	75
佳作	Section	木原 幸志郎	姫路市	22
佳作	イター	藤尾 清宣	明石市	67
佳作	agate	荻野 沙紀	西脇市	27
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	あなたは知らない。	奥野 久美子	芦屋市	20
入選	移ろいてゆく人生	内野 龍太郎	加古川市	72
入選	山里原景	永谷 壽啓	神戸市北区	71
入選	ヒトノ木ダンス	川北 俊治	神戸市中央区	70
入選	津根川純林	大西 義昭	西脇市	78
入選	継-5	杭田 恭子	神戸市西区	不明
入選	プロムナード	立野 稔夫	神戸市中央区	76
入選	太古への想い	川東 雅子	西宮市	64
入選	小さな森のシンフォニー	坪内 智恵美	佐用町	64
入選	礎石	祐保 明美	佐用町	75
入選	レ・モン	田邊 秀子	姫路市	80
入選	サンゴの海	松岡 順子	芦屋市	63
入選	レースと六つの洋梨	野々 なずな	明石市	68
入選	森に生きる	板谷 明美	加東市	71
入選	ぶどう畑の真珠の村	河崎 俊也	尼崎市	65
入選	月の船	原 ちとせ	丹波市	54
入選	細工の宮(神々)	堀 敏文	姫路市	59
入選	枯れゆく青葉	梅崎 秀夫	神戸市西区	71
入選	その時...	金崎 佳子	南あわじ市	70
入選	クルーズで憩う人々	石田 輝男	明石市	80
入選	涼風	佐藤 二美	伊丹市	70
入選	伝承七福神	山本 竜偉	加西市	43
入選	鯉のぼり	浦辺 民子	西宮市	66
入選	朝の厨房	千崎 勝廣	赤穂市	75
入選	もも色宙返り	柏村 文路	宝塚市	58
入選	Living	木原 健志郎	姫路市	22
入選	昼下がりの街角	池田 瑞子	神戸市灘区	75
入選	奥の部屋には...	古賀 由美子	姫路市	70
入選	丘から眺める遠方風景	大木 豊	丹波市	79
入選	奇妙な化石(視)	小谷 晋	神戸市須磨区	65
入選	夏潮来たる	高橋 寛	神戸市西区	78
入選	旅の記憶	加登 和子	伊丹市	83
入選	過ぎゆく時	木庭 隆子	神戸市西区	67
入選	突然変異	松島 英樹	神戸市灘区	50
入選	食肉用家畜・豚	五十嵐 佳容	芦屋市	60
入選	宙	藤村 温子	姫路市	66
入選	冬の青桐	金丸 英子	三木市	62
入選	KHAOS	鈴木 麻里	神戸市垂水区	55
入選	空	椿野 聖梨	朝来市	24
入選	ピーチクパーチク	有馬 真美子	小野市	56
入選	Bottom	佐藤 泰司	神戸市中央区	72
入選	月光	横山 裕美	三木市	65
入選	アズレージョタイルのある窓辺	上山 昌代	姫路市	57
入選	南の島	田中 明美	洲本市	70
入選	臨む	戸田 新一郎	神戸市灘区	70
入選	明日は見えないけれど	水野 洋子	姫路市	64
入選	時の移ろい	藤原 美南	明石市	21
入選	物語のつづき	浅田 祐加	神戸市西区	56
入選	残されたもの	浅川 さちえ	神戸市東灘区	70
入選	白い野花	田中 有作	西宮市	61
入選	ヒマワリーナ	島田 勝	豊岡市	60
入選	氷河に映る曜変天目模様	三方 斌彦	加古川市	81
入選	流れるもの	由良 郁子	神戸市東灘区	63
入選	in and out	桃尾 良継	神戸市西区	65
入選	仲間	酒井 彩花	小野市	17
入選	暮夏のにぎわい	瀬川 敏子	神戸市垂水区	71
入選	祭りの殻	柳 実緒	神戸市垂水区	22
入選	生きる	前川 直子	丹波篠山市	20
入選	応えてください	長谷 知弦	神戸市東灘区	59
入選	無題	宗行 里々子	神戸市灘区	22
入選	初夏の丹波ノ立杭	大西 次丸	神戸市西区	74
入選	PRAHA OLD TOWN	亀井 蘭	神戸市垂水区	57
入選	シンが折れる前に	河本 葵衣	小野市	17
入選	書写山の古木	渡辺 直樹	姫路市	55

彫刻・立体部門(応募点数 17 入選点数 6)

賞	題名	氏名	住所	年齢
一席 部門大賞(知事賞)	夢の記憶	村上 佑介	伊丹市	32
二席 兵庫県立美術館賞	六法華	堀越 渡	市川町	66
三席 神戸新聞社賞	恵寿比舞	藤本 尚隆	西脇市	66
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	どれも遠い記憶	門脇 濟美	神戸市垂水区	68
佳作	二重瞼	吉良 幸弘	丹波市	64
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	はねたがり	松田 華	神戸市須磨区	17

工芸部門(応募点数 36 入選点数 14)

賞	題名	氏名	住所	年齢
一席 部門大賞(知事賞)	古き仲間たちⅣ	村上 満	神戸市兵庫区	77
二席 兵庫県立美術館賞	スワサワ アサヒ	松尾 信一	加古川市	56
三席 神戸新聞社賞	Varius Ovals	岡井 光代	西脇市	78
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	遠望	高谷 敏正	加古川市	67
佳作	プロポーズ	岩井 隆	三田市	56
佳作	釉下彩磁器鉢 木もれ陽	十川 加代子	西宮市	67
佳作	水しぶき	山縣 礼子	神戸市西区	46
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	魂	石田 慎	丹波市	33
入選	求愛	岡田 善嗣	加古川市	77
入選	陸に上った脊椎海月	田中 ひろや	丹波市	59
入選	そして冬になる	奥野 多佳子	大阪府豊中市	66
入選	兵士の帰還	溝尾 真理子	淡路市	62
入選	青い器	高田 輝二	明石市	68
入選	Revolve hexa	山本 諭	播磨町	46

書部門(応募点数 71 入選点数26)

賞	題名	氏名	住所	年齢
一席 部門大賞(知事賞)	夏夜	横手 希翔	洲本市	58
二席 兵庫県立美術館賞	へきたん	田中 敏子	神戸市北区	78
三席 神戸新聞社賞	五月雨に	森岡 郁恵	姫路市	39
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	鹿島鳴秋の詩	松浦 青娥	姫路市	45
佳作	これやこの	池永 萌南	神戸市西区	64
佳作	激	吉岐 翠苑	三田市	54
佳作	荒城の月	稲田 白扇	高砂市	68
佳作	寄贈王十將軍承俊	上吉川 珠寶	姫路市	77
佳作	春夜喜雨	平岡 かね子	赤穂市	70
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	岳岱詩	井口 玉泉	姫路市	37
入選	露草の花	西川 純子	西脇市	66
入選	潮	山本 好永	三田市	73
入選	玉臺観二首	山本 春麗	加古川市	77
入選	賓至	奥谷 清琴	加古川市	58
入選	薛瑄詩	大隅 雅楓	尼崎市	54
入選	送友人之浙中	有年 耀月	赤穂市	24
入選	杜甫詩	長田 黄蘭	神戸市須磨区	56
入選	牡丹	黒瀬 尚美	高砂市	53
入選	煌	茂田 翔	尼崎市	25
入選	白居易詩	青野 彩水	姫路市	47
入選	瞬	安田 壽巳江	神戸市垂水区	44
入選	修	廣末 規子	神戸市東灘区	54
入選	漢詩	久保 杏奈	神戸市中央区	18
入選	五言律詩	山本 彩華	姫路市	54
入選	岑參之詩	小谷 荷香	上郡町	58
入選	卜算子	宮本 華逕	相生市	56

写真部門(応募点数 212 入選点数76)

賞	題名	氏名	住所	年齢
一席 部門大賞(知事賞)	ボニーテール	山本 洋子	神戸市垂水区	75
二席 兵庫県立美術館賞	ママは総監督	岡田 美恵子	姫路市	58
三席 神戸新聞社賞	沐浴	大國 由紀子	明石市	74
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	巣作り	藤原 秀	加東市	60
佳作	ベニスの「春」	高橋 喜久雄	神戸市北区	86
佳作	最後の輝き	石田 泰彦	小野市	72
佳作	夢想	石田 弘之	加東市	65
佳作	ホオヅキ	島津 貴充	宝塚市	55
佳作	祭り物語	荒木 郁子	神戸市北区	77
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	怒濤	川崎 克洋	伊丹市	34
入選	晩春に泳ぐ	佐野 正章	神戸市北区	69
入選	ラクダモーニングの刻	岸本 一二三	神戸市灘区	68
入選	極寒の朝練	高橋 三吉	加古川市	74
入選	早春の六甲山上	上野 純子	神戸市西区	72
入選	You・ひとり旅	山下 隆司	神戸市中央区	69
入選	時空遺産	大原 正章	三木市	70
入選	Three gaps	林 由喜夫	三田市	68
入選	春の来客	増本 隆弘	加古川市	78
入選	はじける若者	清瀬 いちろう	姫路市	79
入選	太陽の塔のある風景	北川 喜則	神戸市垂水区	65
入選	惜春の公園	須崎 哲哉	加古川市	72
入選	アートアニマルランド残照	早川 麗子	神戸市垂水区	66
入選	時空	中野 寛司	神戸市中央区	72
入選	慈愛	赤松 昌哉	神戸市中央区	37
入選	里山の思い出	烏田 建夫	加東市	74
入選	子育て	高木 研壁	神戸市西区	46
入選	アートフェイス	酒井 美貴子	神戸市東灘区	70
入選	悠久の銀河	納庄 ツネ子	三木市	77
入選	万華鏡	山本 節子	神戸市長田区	75
入選	ロンリーライフ	増田 茂	神戸市灘区	73
入選	朝の調教	広瀬 元治	神戸市北区	77
入選	路地裏	亀井 信彦	神戸市兵庫区	71
入選	海の掃除人	荒木 透	西宮市	71
入選	隧道のアンサンブル	村上 光臣	西脇市	69
入選	決闘	高田 恭子	稲美町	67
入選	夏陽	栗木 芳隆	神戸市灘区	85
入選	世界遺産を守って	南 秀人	神戸市灘区	70
入選	令和のお日様に祈りをこめて	井上 勉	丹波市	72
入選	記憶の継承	馬場 和正	三田市	75
入選	奥大井湖上駅	宮下 吉造	神戸市須磨区	72
入選	未知への誘い	高橋 文代	神戸市中央区	76
入選	パパの背中	粟飯原 誠一	尼崎市	71
入選	雨あそび	高橋 英幸	神戸市中央区	69
入選	高山静なり	山本 裕明	加古川市	63
入選	一步先のステップ	稲継 正人	丹波市	73
入選	引き潮のとき	谷 登志朗	姫路市	82
入選	無限	浅尾 建次	姫路市	77
入選	ブルーモーメントの着陸	柏木 正	神戸市西区	75
入選	霧の高原	的野 博司	神戸市須磨区	69
入選	旅の終りに	川端 昭延	三木市	80
入選	道草	松本 義明	丹波市	67
入選	春宵一刻	中島 威	豊岡市	60
入選	ねこみゆにけいしょん	二星 幸弘	神戸市東灘区	54
入選	令和元年の子	摩耶 喜代子	神戸市東灘区	72
入選	車窓映え	桑田 尚子	三木市	64
入選	楽しく田植え体験	藤本 尚三	三木市	78
入選	高架下商店街	鈴木 博	神戸市須磨区	69
入選	へん顔	岡本 美知子	三木市	69
入選	海鳴りの朝	大西 勝	神戸市西区	79
入選	シャボン玉とんだ	澤 勝弘	神戸市垂水区	75
入選	真夏の夜の夢	明石 けい子	神戸市北区	61
入選	KOURIN	竹下 雅道	たつの市	50
入選	氷瀑	寺尾 昭男	多可町	80
入選	夏霧の六甲山上	向井 章二	神戸市灘区	76
入選	炎炎勇往	國廣 篤	神戸市西区	74
入選	麦秋混沌	加藤 英治	宝塚市	77
入選	真夜中のしらす漁	岡本 嘉代子	西宮市	68
入選	縄張り番	宮田 陽子	神戸市東灘区	69
入選	雨の棧橋	西村 俊裕	三田市	85
入選	激走	大前 保夫	丹波市	78
入選	街角マジック	上村 隆夫	神戸市中央区	75
入選	紅い視線	西山 重樹	神戸市東灘区	55
入選	冬夜 爆ぜる	小倉 三千子	宝塚市	71
入選	それぞれの路地裏	新里 勇生	神戸市灘区	22
入選	思いやり	田中 亜希	神戸市灘区	35
入選	役者	清水 晴夫	西宮市	54

デザイン部門(応募点数29 入選点数 10)

賞	題名	氏名	住所	年齢
一席 部門大賞(知事賞)	これはおもちゃ?それともリアル?	太田 美波	神戸市灘区	24
二席 兵庫県立美術館賞	安全第一	亀井 啓二	神戸市灘区	74
三席 神戸新聞社賞	渺茫	大河 琉香	加古川市	17
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	環境御触書	寶山 和久	赤穂市	57
佳作	動物の祭	石田 貢	川西市	68
佳作	戦舞	李 承鋭	加東市	30
佳作	BAHCHIYAN	池川 實	神戸市須磨区	82
佳作	ころろ	はにおか ひさこ	神戸市北区	38
佳作	しろくろ	土井 千恵美	西宮市	42
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	雨の譜面	長松 朋美	神戸市垂水区	27

2019県展受賞者一覧表

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
一席 部門大賞(知事賞)	絵画	1070	絵-29	時季のシグナル	トキノシグナル	松井 幸子	女	73
一席 部門大賞(知事賞)	彫刻・立体	2016	彫・立-6	夢の記憶	ユメノキオク	村上 佑介	男	32
一席 部門大賞(知事賞)	工芸	3023	工-8	古き仲間たちIV	フルキナカマタチヨン	村上 満	男	77
一席 部門大賞(知事賞)	書	4009	書-5	夏夜	カヤ	横手 希翔	女	58
一席 部門大賞(知事賞)	写真	5097	写-34	ポニーテール	ポニーテール	山本 洋子	女	75
一席 部門大賞(知事賞)	デザイン	6028	デ-9	これはおもちゃ?それともリアル?	コレハオモチャ?ソレトモリアル?	太田 美波	女	24

小計 6

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
二席 兵庫県立美術館賞	絵画	1106	絵-44	風化シリーズ(賽の河原)	フウカシリーズ(サイノカワラ)	中村 淳典	男	59
二席 兵庫県立美術館賞	彫刻・立体	2003	彫・立-2	六方華	ロっぽウゲ	堀越 渡	男	66
二席 兵庫県立美術館賞	工芸	3011	工-3	スワサワ アサヒ	スワサワ アサヒ	松尾 信一	男	56
二席 兵庫県立美術館賞	書	4057	書-21	へきたん	ヘキタン	田中 敏子	女	78
二席 兵庫県立美術館賞	写真	5191	写-66	ママは総監督	ママハソウカントク	岡田 美恵子	女	58
二席 兵庫県立美術館賞	デザイン	6013	デ-4	安全第一	アンゼンダイイチ	亀井 啓二	男	74

小計 6

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
三席 神戸新聞社賞	絵画	1101	絵-42	さあさあ、どうぞ!	サアサア、ドウゾ!	原 清	男	72
三席 神戸新聞社賞	彫刻・立体	2001	彫・立-1	恵寿比舞	エスビマイ	藤本 尚隆	男	66
三席 神戸新聞社賞	工芸	3032	工-11	Various Ovals	バリアスオバリス	岡井 光代	女	78
三席 神戸新聞社賞	書	4030	書-12	五月雨に	サミダレニ	森岡 郁恵	女	39
三席 神戸新聞社賞	写真	5100	写-37	沐浴	モクヨク	大國 由紀子	女	74
三席 神戸新聞社賞	デザイン	6011	デ-3	渺茫	ビョウボウ	大河 琉香	女	17

小計 6

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	絵画	1204	絵-69	ミエナイ ケド アルモノー追いかけて	ミエナイ ケド アルモノーオйкаケテ	相良 みつよ	女	69
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	彫刻・立体	2013	彫・立-4	どれも遠い記憶	ドレモトオイキオク	門脇 済美	女	68
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	工芸	3024	工-9	遠望	エンボウ	高谷 敏正	男	67
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	書	4037	書-14	鹿島鳴秋の詞	カシマメイシュウノシ	松浦 青娥	女	45
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	写真	5099	写-36	巣作り	スヅクリ	藤原 秀	男	60
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	デザイン	6006	デ-2	環境御触書	カンキョウポスター	寶山 和久	男	57

小計 6

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
佳作	絵画	1006	絵-4	Self-portrait Avenue	セルフ ポートリト アベニュー	藤本 隆正	男	36
佳作	絵画	1063	絵-26	桜の下	サクラノシタ	丸尾 邦典	男	75
佳作	絵画	1066	絵-27	Section	セクション	木原 幸志郎	男	22
佳作	絵画	1099	絵-41	イター	イター	藤尾 清宣	男	67
佳作	絵画	1112	絵-47	agate	アゲート	荻野 沙紀	女	27
佳作	彫刻・立体	2008	彫・立-3	二重瞼	フタエマブタ	吉良 幸弘	男	64
佳作	工芸	3004	彫・立-6	プロポーズ	プロポーズ	岩井 隆	男	56
佳作	工芸	3012	工-4	釉下彩磁器鉢 木もれ陽	ユウカサイズキバチ コモレビ	十川 加代子	女	67
佳作	工芸	3018	工-6	水しぶき	ミズシブキ	山縣 礼子	女	46
佳作	書	4004	工-14	これやこの	コレヤコノ	池永 萌南	女	64
佳作	書	4007	書-4	激	ゲキ	壺岐 翠苑	女	54
佳作	書	4015	書-6	荒城の月	コウジョウノツキ	稲田 白扇	女	68
佳作	書	4022	書-8	奇贈王十將軍承俊	キソウオーショウゲンショウシュン	上吉川 珠寶	女	77
佳作	書	4066	書-24	春夜喜雨	シュンヤアメヲヨロコブ	平岡 かね子	女	70
佳作	写真	5019	写-8	ベニスの「春」	ベニスノハル	高橋 喜久雄	男	86
佳作	写真	5122	写-42	最後の輝き	サイゴノカガヤキ	石田 泰彦	男	72
佳作	写真	5142	写-47	夢想	ムソウ	石田 弘之	男	65
佳作	写真	5177	写-60	ホオヅキ	ホオヅキ	島津 貴充	男	55
佳作	写真	5212	写-69	祭り物語	まつりものがたり	荒木 郁子	女	77
佳作	デザイン	6003	写-69	動物の祭	ドウブツノマツリ	石田 貢	男	68
佳作	デザイン	6017	写-69	戦舞	センマイ	李 承鋭	男	30
佳作	デザイン	6018	写-69	BAHCHIYAN	バーチャン	池川 實	男	82
佳作	デザイン	6026	写-69	こころ	ココロ	はにおか ひさ	女	38
佳作	デザイン	6031	写-69	しろくろ	シロクロ	土井 千恵美	女	42

小計 24

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	絵画	1134	絵-50	あなたは知らない。	アナタハシラナイ。	奥野 久美子	女	20
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	彫刻・立体	2015	彫・立-5	はねたがり	ハネタガリ	松田 華	女	17
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	工芸	3034	工-13	魂	タマシイ	石田 慎	男	33
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	書	4048	書-18	岳岱詩	ガクタイシ	井口 玉泉	女	37
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	写真	5218	写-69	怒濤	ドトウ	川崎 克洋	男	34
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	デザイン	6022	デ-7	雨の譜面	アメノフメン	長松 朋美	女	27

小計 6

合計 54

2019 県展 講評

絵画部門

【総評】

全体に粒ぞろいで、丹念、緻密に描かれた作品が多い。一方で、独自性や強いテーマ、現代性を持つ作品は少なく、テーマや狙いが対象を通してしっかりイメージ化されたもの、また自分の身近なリアリティを追求したものが受賞作品となった。高い技術を持つ方はそれに満足せず、技術の高さを崩すようなチャレンジをすることで、より上を目指せると考える。また、今回は長く続けることで完成度を増した作品の魅力がより伝わってきた。若手には、より自分のこだわりを強く出す作品を描いてもらいたい。

【一席 部門大賞・知事賞】

古くからある蓮というモチーフを描きながら、象徴性を帯びた時間の流れを表している。西洋的遠近法にとらわれず、背景と蓮の関係が運動と時間を生み出しているが、そのことが絵画としてのリアリティを増し、力強い空間を作り上げている。

【二席 兵庫県立美術館賞】

画面の密度が非常に高いが、それが平らになるのではなく、前後に振幅して呼吸しているようである。貝をモチーフとして、曼荼羅のような宇宙観が表されている。洋画にも日本画にも無い絵肌で、確かな技術をもってまとめ上げられている。

【三席 神戸新聞社賞】

テーブルの横線と S 字曲線の対比など、絵画としての構成美を身近なもので描ききっている。また、遠近感を崩して対象を描き、チグハグにすることで作品を絵画たらしめている。中心の刺身が過剰に描きこまれており、表現したいものへの作者の熱が伝わってくる。

【四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞】

何かの形をなぞるのではなく、筆触自体が自由に動いていて開放感を感じる。計算に収まらない制作のライブ感があり、作者の高揚していく意識が伺える。かなり自由に作られているが、作品として破綻せずにクオリティは保たれている。

【奨励賞 (公財) 伊藤文化財団賞】

美人画、記号としての人物像ではなく、強い意志を持った生身の人間を表現できている。衣服の表現も印象的で、丹念に描くことで中の人間を描こうとしている。日本画の素材にあぐんでいるようだが、それが逆に未知数の魅力となっている。

彫刻・立体部門

【総評】

例年以上にバラエティに富んだ作品がバランスよく集まっていて見ていて楽しかった。各出品者とも人真似でない個性的表現を追求している点がとても良かった。

【一席 部門大賞・知事賞】

樹脂にアクリルで着色した作品と思われる。森の切り株から少女へと変容するイメージが流麗な曲線や波のようなフォルムで表現されている。技術的にはまだ洗練の余地があるが、少女特有の内気な心情や雰囲気のにじみ出てくるようで、表現したい思いがストレートに出ている。

【二席 兵庫県立美術館賞】

六面体が集まって八面体となり、さらにそれが増殖して大きな八面体を形成するという、今回最も緻密に構成された作品。幾何学的なイメージと曼荼羅や仏塔を思わせる仏教的なイメージが融合されている。日本の伝統建築も想起させ興味深い。

【三席 神戸新聞社賞】

流木という素材のオーガニックな雰囲気と紙粘土で造形されたギリシャ彫刻を思わせる顔の表現とのアンバランスさが面白い。伸びやかな空間性を感じさせる一方、雁字がらめになった現代人の人間関係をも表現しているようにも見える。

【四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞】

建物の瓦礫や残骸を樹脂で固めることで災害の記憶を化石のように封じ込めようとした作品で、メッセージ性を強く感じさせる。素材の扱い方がうまく、本来美しいとはいえないものを美しく見せており、現代美術としての体裁が整っている。

【奨励賞 (公財) 伊藤文化財団賞】

ねぶたの技法を用いた民族工芸的な作品であるが、今後はもっとスケールの大きな作品への展開や彫刻作品としての新しい発想にも期待したい。ただ、おたまじゃくしの尻尾の半透明的な様子などが巧みに表現されている点は評価できる。

工芸部門

【総評】

作品の形とボリューム、技術のバランスがとれていて破綻の無い、堅実に作られた作品が多い印象。制作するにあたって最後まであきらめずに作りこむ誠実さを感じた。昨年度よりも技法のバリエーションが広がったようで、チャレンジする意識も見えて楽しく審査した。県展の工芸部門においては、素材を楽しんで取り組むことに大きなポイントがあるので、出品者は様々なものに挑戦してほしい。

【一席 部門大賞・知事賞】

器の陶芸作品が多い中、ガラスの瓶をモチーフにしていることが面白く、またそれらが引き出しに並ぶ様は舞台のよう。古色の感じや作者の経験・記憶を連想させるタイトルなどが時間の経過を仄めかしており、焼き締め技術ともとても合っている。自然灰の感じがよく出ているので、これは薪窯で作られたのでは？工芸はインスピレーションだけでは足りず、それを実現させるための技術や努力を積み上げていかなければならないが、そういう努力が作品の物量も含め全体に感じられた。

【二席 兵庫県立美術館賞】

工芸は伝統的な技法を使って積み上がってきたものを今の暮らしにアプローチさせなければ生き残れないと言われているが、この作品はまさに「日常で使えるもの」という原点に立ち返っている。シンプルな形でありながら細部にひねりが見えてユニークであり、好感の持てる良い仕事である。未来志向的な印象も持ち、素材の木目を生かして自分の椅子を作ろうとしている姿勢が現れている。今後も継続してこの方向を模索して行ってほしい。

【三席 神戸新聞社賞】

使っている布が珍しい。部分によって素材を変えるなど織りづらいことが予想されるが、綺麗に、丁寧に仕上げている。全体的に色味を抑え、モチーフをシンプルにすることで技術や異なった素材を用いる工夫が際立っている。楕円形のバリエーションが表現できていて、作者の想像力の豊かさ、自由さがよく現れており、その親しみやすさも魅力的である。

【四席 (公財) 兵庫県立芸術文化協会賞】

アイデアを持って完成に至るまでに要素を吟味するなど段階を踏んだように見受けられる。タイトルも面白く、少ない要素で絵画的な距離感を表現するなど工夫されている。花瓶にもなるような形態が街の景色になっている点が面白い。物語性を強くもちながらも説明的でない、工芸性が出ているところが良い。釉薬の微妙な調整やテーピングを使った跡も見られ、作者の経験と技術が現れている。

【奨励賞 (公財) 伊藤文化財団賞】

特にガラスのカット部分など綺麗に仕上げられていて完成度が高い。細部を作りこみながらも、剣と歯の透明感や、切子と頭部の根のような部分につながりができているように一体感もあり、ひとつの造形としてうまく作られている。前作よりガラスの技法を強調しようという意識が出ており、ガラス工芸の将来を模索しているようで可能性を感じる。ガラスの良さがどんどん出てくるとより良いのでは。

書部門

【総評】

漢字、かな、前衛作品がバランスよく出品されており、いい作品が多くあった。調和体もあり楽しく審査することができた。出品作品それぞれはバラエティに富んでいたが、篆刻作品がなかったのは残念であった。今後に期待したい。

【一席 部門大賞・知事賞】

余白を十分にとって墨をしっかりと入れた見応えのある作品。古典でいうと明代末期の張瑞図(ちようずい)の風格を根底に、宋の米芾の表情も垣間見せた格調の高い作品である。

【二席 兵庫県立美術館賞】

第一画の強烈な縦線が左右に展開する構成と線が心地よく、時計の振り子のような形とリズムカルなタッチでよくまとめられた明るい作品である。

【三席 神戸新聞社賞】

全体的にしっかりした堂々たる書きぶりの作品。書き初めは静かな入り方で、後半に見せ場をもってくる構成となっており斬新さも見られる。線も豪快でしっかり書かれている。

【四席 (公財) 兵庫県立芸術文化協会賞】

漢字かな混じりの作品である。誰でも読める作品を鑑賞することは書作品にとって大切なことである。そういった中、本作は力みのない軽やかなタッチで最後までよどみなく淡々と書かれており、筆致の安定度もあいまって楽しく鑑賞できる作品。

【四席 (公財) 兵庫県立芸術文化協会賞】

大胆な筆致で目を奪う構成は非常に巧みである。強弱を加味した筆遣いは妙味をみせて、今後の活躍を予感させるものである。

写真部門

【総評】

応募作品数が多く、全体のクオリティも高かった。頭でっかちにならず、ある種の保守性も見られるが決して安易ではない、出品者の写真に対する関心の高さが表れている。時間をかけて撮影してきたものから良いものを出している印象。派手さはないが、写真の可能性の一端が見えた。県展は老若男女が同じ舞台で平等に表現できる場。より多くの参加者が多様な形で応募してくれることを祈る。

【一席 部門大賞・知事賞】

一目見て惹かれる作品。背景の暗い草むらの中で白馬の筋肉、血管、質感が浮かび上がり、光と影の使い方、コントラストが上手い。対象は馬だが、生きるオブジェとして光と形の相関性がよく表れている。加工せず、写真の原点による表現であることも評価した。

【二席 兵庫県立美術館賞】

写真を撮る光景を撮っていて、写真の面白さ、ありようを捉えて伝える力がある。個々の写真は隙があるが、スナップ写真らしいところがむしろ好印象。満面の笑みで幸せそうに写真を撮る人が微笑ましく、素直に良いと思わせる作品である。

【三席 神戸新聞社賞】

対象となった顔のおどろおどろしい存在感と強い目線、濁った池、池に映る木の影のボケ具合等、画面の中に爽やかさが全くなく強烈なインパクトを与える。これは何だろうと思わせ、何か分かってからも不思議さが残る。怖い、面白い等、様々な見方ができるのも魅力。

【四席 (公財) 兵庫県芸術文化協会賞】

シンプルなシルエットがシャープに出ており、図案的なセンスを感じる。サギは都市部でもよく見かける鳥であるが、この作品のサギは人工物を止まり木の代わりにしており、自然と人工物の対比、共存関係も面白い。

【奨励賞 (公財) 伊藤文化財団賞】

シャッタースピードを上げて、瞬間を捉えた良作。背景をぼかして計算してシャッターを切っており、高い技術を持っている。腕に絡まる泥の水しぶきも印象的。若い作り手にしかできない表現で、エネルギーを感じる。

デザイン部門

【総評】

県展では絵画部門もデザイン部門もあることから、例年、絵画的な作品が多く、絵画とデザインの線引きが曖昧なものが多い。デザインでは、何を伝えたいのか、何を意図したのか読み取れることが最低条件。その上で高いクオリティで表現できたかが評価の大きなポイントとなる。昨年と比較するとデザインとして見ることができる作品が増えたこと、社会との繋がりを意識した作品が出てきたのが良かった。ただ、ジャンルとしてはプロダクトデザインや商業デザインなど多様な表現が含まれているにも関わらず、それらが見られなかったのは残念。社会的なメッセージ以外のものも含めて、さまざまな表現が同時に存在するのがデザイン部門の本来の姿では。とはいえ全体的に力の入った作品が多く、審査が楽しかった。

【一席 部門大賞・知事賞】

社会的メッセージを、目線を下げて表現している。メッセージは辛辣だが、見た目はかわいらしく楽しげに見える。そのメッセージを読み解くのはそれほど難しくはないが、初めはそれに気付かず通り過ぎてしまうかもしれない。その後、メッセージに気付いた人はショックを受ける。気付く前と後の2面性が魅力的。イラストレーションのクオリティが非常に高い点も高く評価できる。

【第二席 兵庫県立美術館賞】

三宮で起こった出来事を取り上げており、メッセージが伝わりやすい。こちらに向かってくるシマウマに迫力があり、画力も表現力も優れている。画面からは若いエネルギーを感じるほどである。時間のかかるメディアを用いて、ここまでの精度のものを描こうとし、成し遂げた点は評価に値するが、絵としての課題を感じる部分もある。

【第三席 神戸新聞社賞】

気の遠くなるような根気が必要な作品であり、非常に強いエネルギーを感じる。ボールペンで細かく画面を埋め尽くす表現は今の流行りだが、この作品は、根気だけでは成し遂げられない綿密な構成力があり高い意識を感じる。あえて具象的でないパターンが魅力的ではあるが、惜しむらくはどのような意図で表現したのか伝わりにくい点。将来に期待したい。

【第四席 (公財) 兵庫県芸術文化協会賞】

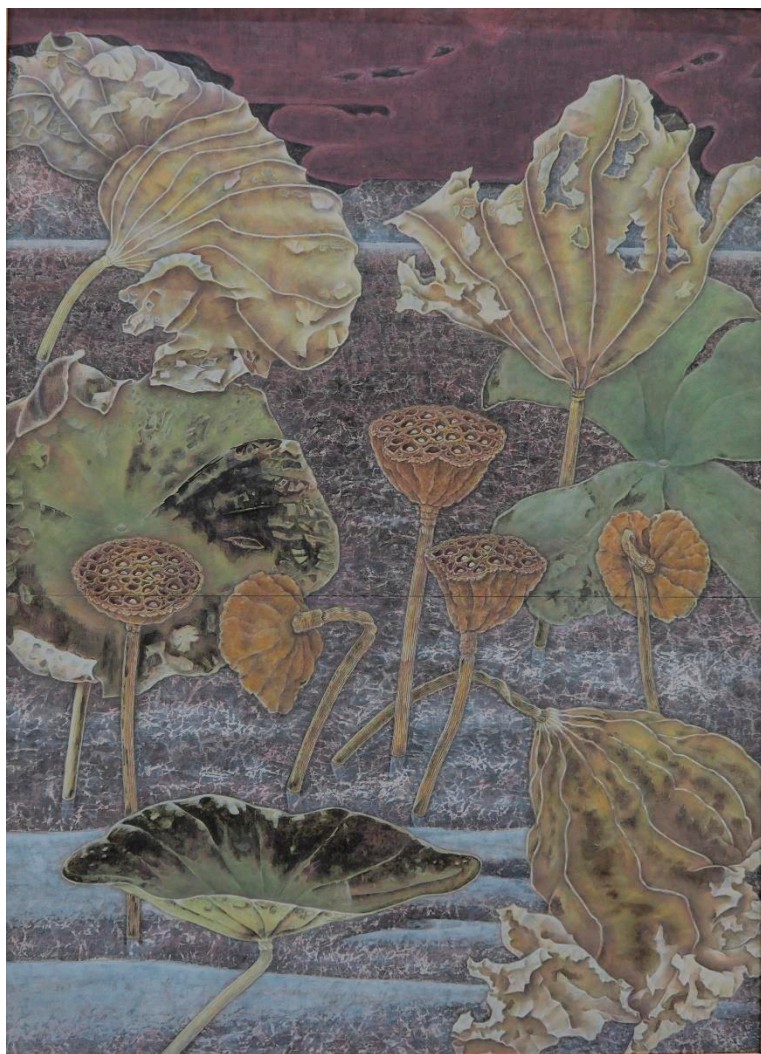
ひとつひとつのアイデアが的を射ている。レタリングも絵も全て手書きという点も評価したい。特に浮世絵師の名前を表現した文字の完成度が高く、招き看板の制作をされて

いる方ではと思うほど。デザインとしては、文字が多すぎる点と処理方法に課題があるが、べたな表現を敢えて用いてパロディーにしているとも考えられる。

【奨励賞 （公財）伊藤文化財団賞】

色が鮮やかでないにも関わらず、他の作品に埋もれず記憶に残る作品。デザイン部門の絵画表現には、今までの絵画表現とは異なる新しい表現が出てくる。完璧ではないが、新たに始動する何かを感じる。イラストレーションでありながら、人物というより、鬱々としながら聖なるものに憧れる気分や空気感が表現されており、そこにオリジナリティを感じる。

2019 県展 特席 県展大賞 受賞作品



松井 幸子 《時季のシグナル》

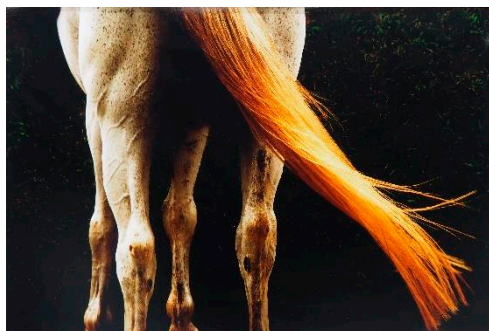
2019県展 一席 部門大賞（知事賞） 受賞作品

【絵画部門】



松井 幸子 《時季のシグナル》

【写真部門】



山本 洋子 《ポニーテール》

【工芸部門】



村上 満 《古き仲間たちIV》

【彫刻・立体部門】

村上 佑介
《夢の記憶》



【書部門】



横手 希翔 《夏夜》

【デザイン部門】



太田 美波
《これはおもちゃ？それともリアル？》